

各種調査結果を踏まえた改善の方向性

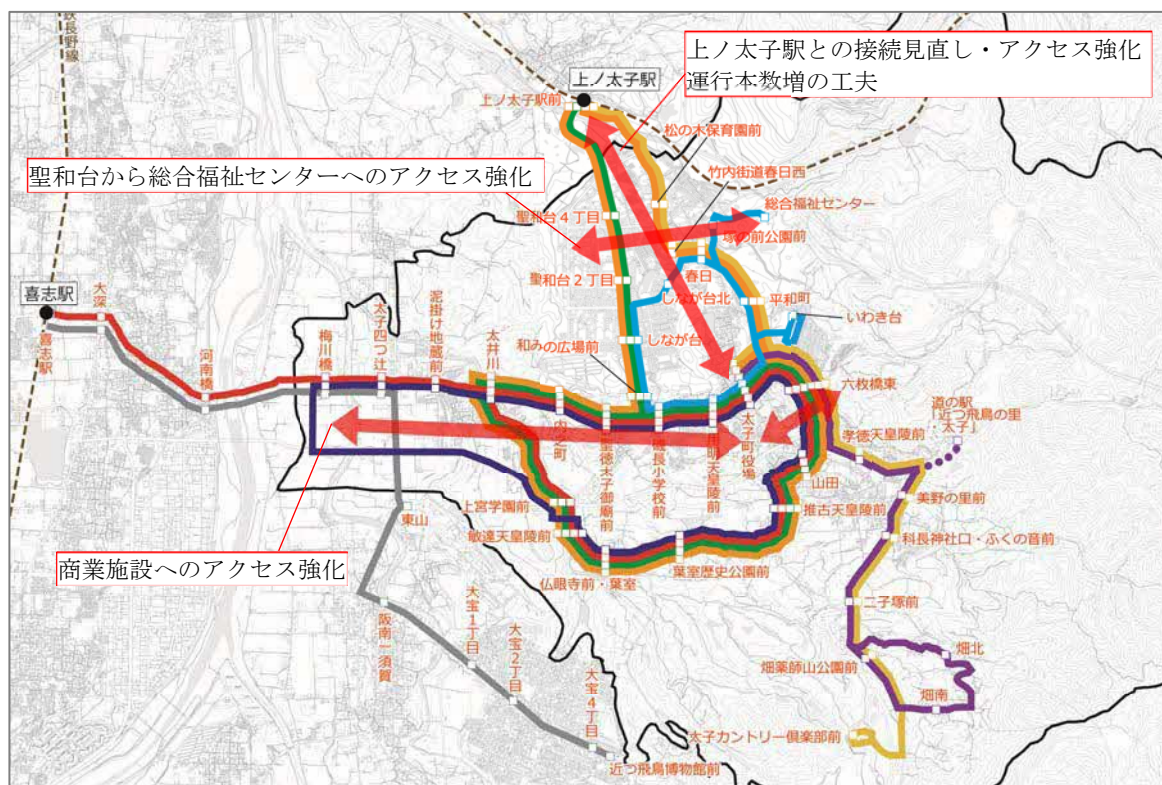
各種調査結果で挙げられた意見を踏まえ、改善に向けた方向性を整理する。

（以降は主な意見を整理しており、その他意見については特定の場所など個々の意見が含まれるため、まずは全体の改善を行ったのちの検討材料とする。）

主な意見	改善の方向性
・ 運行本数の増便 ・ 駅へのアクセス強化 ・ ダイヤが合わない ・ 運行時間の拡大	運行本数の実質的な増便は、新たに車両や運転士の確保が必要となるため、困難である。 しかし、移動需要に合わせたダイヤの見直しやルート設定の工夫により、駅へのアクセス本数を強化することができる可能性があるため、ルート設定やダイヤの見直しの検討を行う。
・ 駅との接続が悪い	バスが予定時刻より早く駅についた場合など、接続する電車の前の電車が目の前で発車するという事象も発生している。 また、電車に乗る人に合わせるのか、降りる人に合わせるのか、どちらの方面のダイヤに合わせるのか等によって接続させる時刻が変わってくるため、上記のダイヤ見直しにあわせて駅との接続の見直しを行う。
・ 運賃が高い ・ 割引等の支援制度の実施 ・ 乗り継ぎ時の運賃 ・ 運転免許返納後の不安	・ 乗り継ぎ券導入を検討する。 ・ 運転免許返納者等への支援制度などの構築を検討する。
・ 支払い方法（両替機、回数券等）の改善	両替機、回数券については、交通系 IC カード導入も視野にいれて検討を行う。
・ バス車両（通路の狭さ、乗り降り、降車ボタン等）の改善	8 月末に新たに低床化車両導入済み。これによりバス利用時の快適性等の改善が期待できる。
・ 情報案内（乗車時の行先や路線図等）の改善	現状、回り方が 2 パターンある路線が多く、慣れない方にとってはわかりにくくなっている。また、複数路線が通る太子町役場では、路線によって乗り場が異なるため、わかりにくくなっている。わかりやすいルート設定と情報発信の強化の検討を行う。

主な意見	改善の方向性
・町内移動（総合福祉センター、商業施設等）へのアクセス強化	・総合福祉センターへのアクセスについては、現状乗り継ぎが必要な地域があり、聖和台など直通の要望も挙がっているため、平日の昼間に直通のルート設定の検討を行う。 ・商業施設については、商業施設へのアクセスルート設定及びバス停設置の検討を行う。
・バス停の移動・増設	交通事業者、警察の意見も伺いながら、検討を進める。
・デマンド型へ移行 ・タクシー（運賃、台数）の強化	・現状の利用状況では、定時定路線が適していると考えられる。（デマンド型の場合は積み残しが多発する可能性が大きい） ・タクシーについては、交通事業者と連携を取りながら検討を行う。 ・また、公共交通サービスを利用できない方については、福祉の移動サービスを紹介するなど案内の強化を行う。

路線改善検討イメージ



■今後のスケジュール（予定）

令和 6 年 12 月	第 4 回地域公共交通会議 ・ 各種調査結果報告 ・ 改善に向けた方向性
令和 7 年 2 月～3 月	第 5～6 回地域公共交通会議 ・ 改善内容（案）
令和 7 年 3 月頃	近鉄電車ダイヤ改正の可能性も踏まえたバスダイヤ調整
令和 7 年 4～7 月	次年度第 1～2 回地域公共交通会議 ・ 改善内容の最終（案）→承認→改善内容での運行開始 ・ 地域公共交通計画の一部改定、補助申請準備→承認→申請